

太子町における小規模事業者の
景況調査報告（第1回）

平成29年1月～6月

平成29年9月

太子町商工会

目的：

大子町の小規模企業者の景況感を継続して調査することで、大子町における小規模企業者全体で景況感を共有することを目的とする。

方法：

製造業・建設業、小売・卸売業、サービス業（飲食店等を含む）からサンプルの小規模企業者を約 30 社選び、四半期ごとに景況感の聞き取り調査を行う。聞き取り方法は、直接面接もしくは電話にて行う。

調査期間は平成 29 年 1 月～平成 33 年 12 月までとし、半年ごとに景況感をまとめ、報告する。

対象事業者：

大子町にて事業を行っている小規模事業者

調査項目：

- ① 売上高、販売単価、粗利益、資金繰り、人材確保、景況感、風評被害について前年度同時期と比較した。
- ② 調査期間における設備投資の有無、および、今後の設備投資の予定を調査した。
- ③ 大子町で事業を行う上で、現在認識している課題・問題点を調査した。

調査属性

製造業（食品加工業を含む）	6社
建設関連業	6社
小売業（卸売業を含む）	9社
サービス業（飲食、観光含む）	10社

事業者の規模

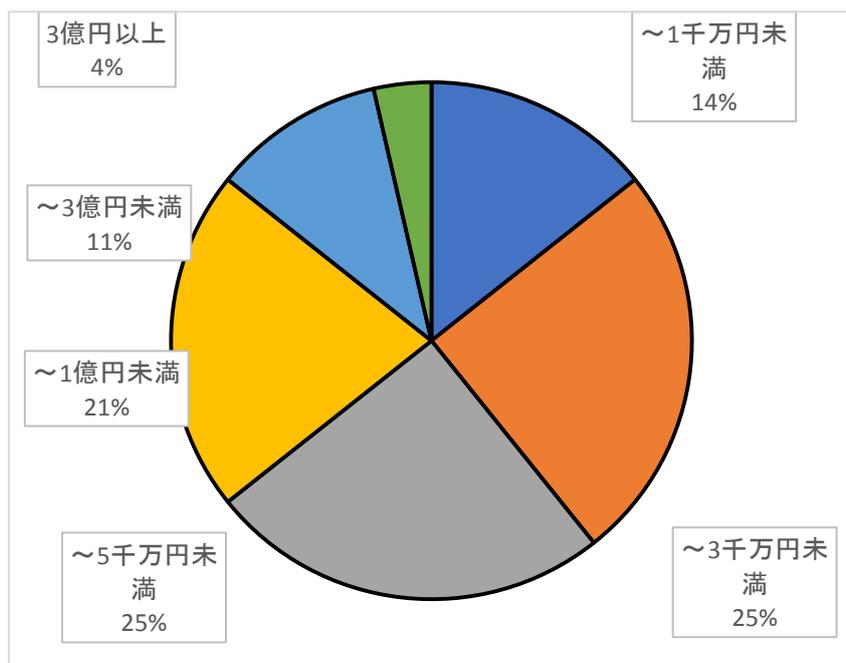


図1 売上規模による事業者の調査割合

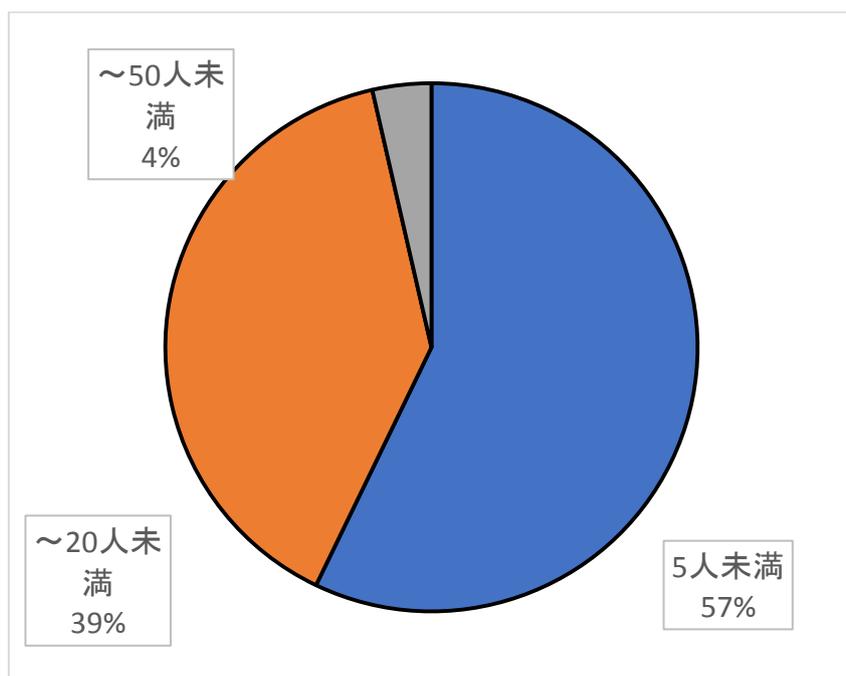


図2 従業員規模による事業者の割合

1. 景況感について

大子町の特徴の一つとして、3.11 東日本大震災による風評被害が懸念されるが、サービス業においては、風評被害が解消してきたと感じる事業者が増えている。また、足元では、粗利益、景況感、改善されている傾向にある。

表1 平成29年1月～3月間のDI※1

	売上高	販売単価	粗利益	資金繰り	人材確保	景況感	風評被害
製造業 (食品加工含む)	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7
建設関連業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0
小売業 (卸売業含む)	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	▲ 11.1
サービス業 (飲食、観光含む)	▲ 20.0	0.0	▲ 30.0	0.0	▲ 10.0	▲ 30.0	30.0
全業種計	▲ 22.6	▲ 19.4	▲ 19.4	▲ 9.7	▲ 6.5	▲ 22.6	3.2

表2 平成29年4月～6月間のDI※1

	売上高	販売単価	粗利益	資金繰り	人材確保	景況感	風評被害
製造業 (食品加工含む)	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7
建設関連業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	0.0
小売業 (卸売業含む)	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 22.2	0.0	0.0	▲ 11.1
サービス業 (飲食、観光含む)	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 10.0	▲ 30.0	30.0
全業種計	▲ 25.8	▲ 19.4	▲ 16.1	▲ 12.9	▲ 3.2	▲ 19.4	3.2

※1 DI (Diffusion Index : 業況判断指数)

「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものを%ポイントで表した景気の判断指数の一つ。プラスは良くなった。マイナスは悪くなった。と、とらえることができます。

2. 設備投資に関して

景気が良くなったとは言い難いところもあるが、今後設備投資を行う予定の事業者が増えている。何かしらのアクションを採ることで、ビジネスチャンスを感じている事業者がいることがうかがえる。

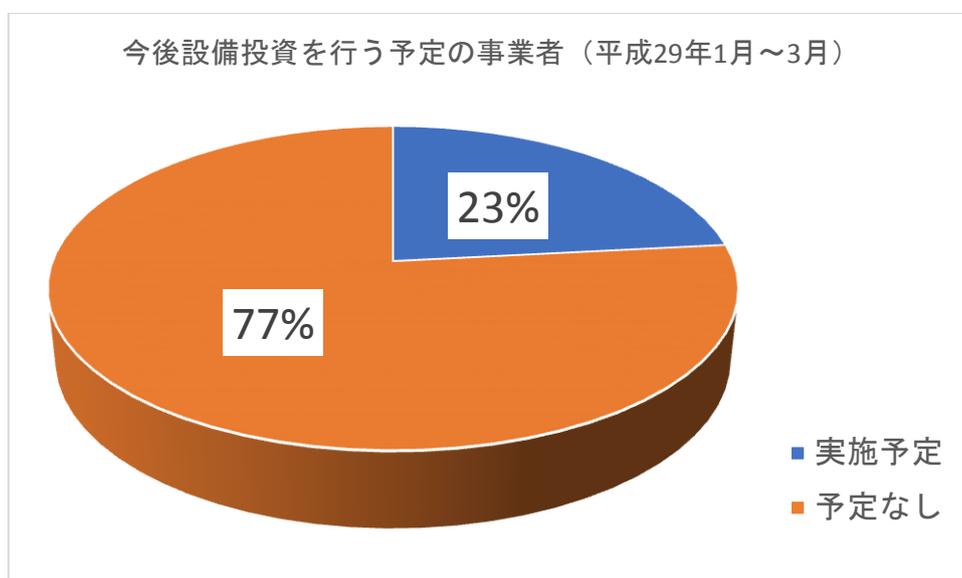


図3 今後設備投資を行う予定のある事業者の割合（平成29年1月～3月）

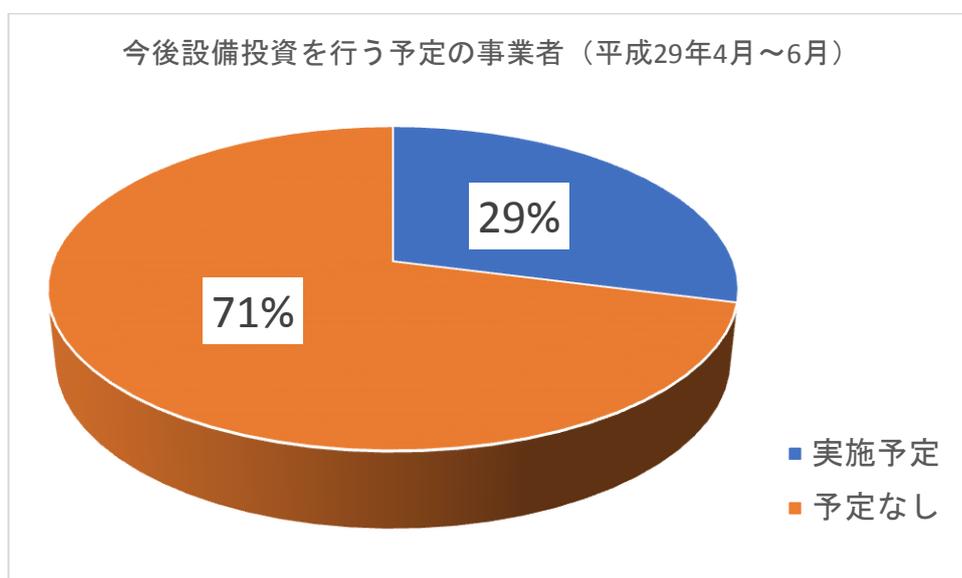


図4 今後設備投資を行う予定のある事業者の割合（平成29年4月～6月）

3. 小規模事業者の課題意識について

小規模事業者の課題意識は図5のようになった。最も重視する課題は「需要の停滞・売上の伸び悩み」であり、2番目に重視する課題は「従業員の確保難」であった。

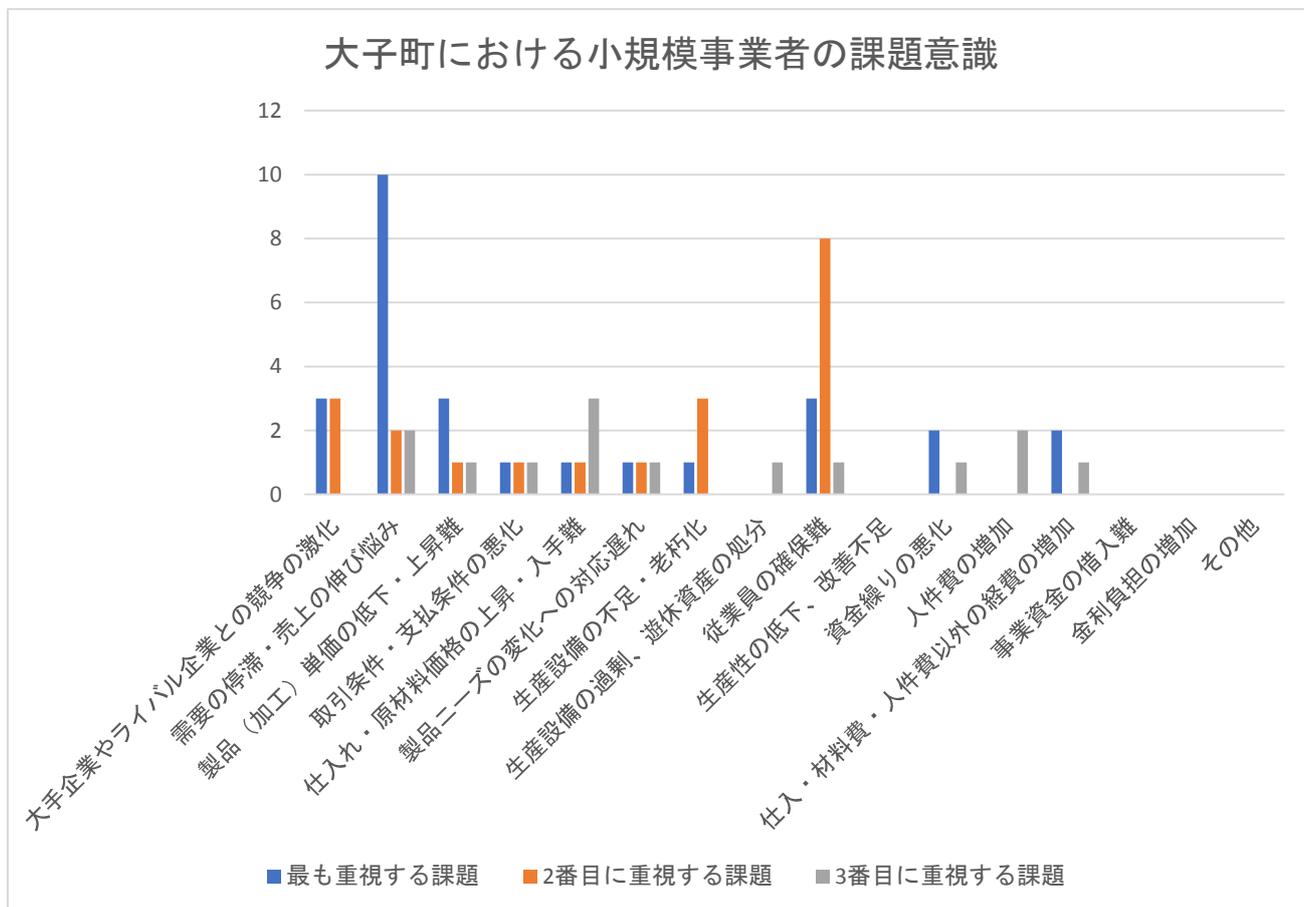


図5 大子町における小規模事業者の課題意識（平成29年4月～6月）